



『そうけんくん拜見』

## 株式会社スズキヤ

企画開発部 井田 貴夫



今回お伺いしたのは神奈川県逗子に本社を構え県下12店舗を展開している食品スーパーのスズキヤ様になります。  
ご対応頂いたのは情報システム部部长川田誠司様、SM事業部商品部デリカ担当バイヤー木内美紀様、商品部業務担当係長の昼間瑞江様です。

## ■ 御社の業務内容を教えてください

神奈川県で営業展開している食品スーパーです。今年で創業百十六周年を迎えました。



■ ストア内のパン工房

## ■ 御社の特徴や他社との違いがあれば教えてください

商品数が多い事です。仕入れ取引先数は600を超えています。(通常同規模企業では100未満)

例えば地元の農家と直接取引をして市場に出回らないスズキヤにしか無い物から、百貨店などで販売される嗜好品も販売しています。その他にも北海道展のような催事も行っています。特に逗子駅前店は昔からの常連もいれば、遠方からお買い物に来てくれるお客様もいるので、販売している商品と

お客様のニーズがマッチしているのだと思います。

## ■ そんな中『そうけんくん』を導入された経緯を教えてください

今期経営方針で下記テーマを掲げています。

1. 商品開発を加速する
2. お弁当対象の受賞(デリカテセン・トレードショー主催者企画)
3. 葉山プロセスセンターの活用
4. 経費削減
5. 地域事業への参加
6. 子供食堂の提供

1〜3に関しては毎月各部門(デリカ、ベーカリー、寿司)で5品以上の新商品を開発しています。特に今年は暑いので、揚げ物を自宅で調理したくないお客様が多く非常によく売れています。新商品開発には一括表示作成業務が付いてきます。

お弁当対象の審査には商品の外観やその味だけでなく一括表示ラベルも必要となります。

## ■ 現状のお困りごとはありますか？

原料規格書の管理です。

どの規格書が提出されていて、されていないのかを管理する方法を社内検討中です。

新法対応が完了しても、さらにHACCPCや軽減税率への対応もあり、事業者への負担が減らない事も悩みです。

私も葉山マリーナでの説明会や、スズキヤ様の社内ミーティングにも参加させて頂きました。印象的だったのが誰が何をするか明確に決めていた川田様、各バイヤーに厳しくスケジュールを切っていたプロセスセンター長。そうけんくんは単なるツールであり、使用するユーザーがそれを理解して初めて活用されるのだと再認識しました。

大手スーパーマーケット以外は品質管理部門がありません。それでも同レベルの一括表示や衛生管理を求められます。現在品質管理経験者は売り手市場と聞きますが、採用できない企業もあると思います。そのような場合スズキヤ様のようにしっかりとスケジュール管理をし、表示計算はシステムにまかせるといったのが一つの対策例になるのではないのでしょうか。

## 株式会社スズキヤ

所在地：神奈川県逗子市逗子6-5-3  
創業：1902年(明治35年)  
事業内容：総合食品小売業(スーパーマーケット)、  
雑貨専門店(置地廣場)、不動産事業、  
保険代理店業  
年商：165億円8,600万円(2016年3月実績)  
資本金：3,000万円

開発速度が上がりが頻度も増え、今まで行っていた手計算では業務が回せないという結論になりました。上述の4にも繋がりますがバイヤーの仕事はお客様に喜んでいただける良い物を探す・開発するというのが本来の業務です。しかし一括表示作成に時間を要しなかなか本来の業務に取り掛かれないという実態がありました。そこで各方面に対策を相談した所、

仲の良いスーパーに御社『そうけんくん』を紹介してもらったのです。

## ■ 導入していかがでしたか？

大変でした。

まずは社内の説得です。一括表示は今まで各バイヤーが当たり前のように行ってきた業務なので、それをシステム化する必要があるのかという指摘もありました。今期経営方針を遂行する為に必要という事をなんとか社内で浸透させた後、更に人員の配置転換も行いました。

次に2017年7月に葉山マリーナを利用してお取引先様向けに、そうけんくん規格書の説明会を行いました。説明会開始時は葉山の海が綺麗に見回せたのですが、終了間際大雨に変わ



■ 左から 昼間様 川田様 木内様

り、機材撤収時は皆さぶ濡れになってしまいました。ただこの説明会を実施した事でお取引先様の協力を得られたと感じます。規格書も無事集まり、今では依頼してから1週間程度で提出して頂けるようになりました。「雨降って地固まる」とはこの事かと感じます。その後情報システム部が指揮をとり、作業スケジュールと役割分担を決めていきました。情報システム部に原料規格書を受領、業務担当が原料規格書のチェック、商品部バイヤーが商品登録と進める事で葉山プロセスセンターは説明会から6か月後の2017年10月出荷商品から新法移行できるようになりました。

今後は店内製造品約1,000商品の整理と新法移行となります。2019年10月に増税予定といわれていますので、その前の2019年8月頃までを移行完了目標します。現在1,000商品のうちどれが販売中かの確認から行っています。

社内、社外調整と今までとは変化が発生し苦労しましたが、今ではそうけんくんを導入して安心して表示が作れています。



■ ストア内のお惣菜・お弁当

## 取材後記

取材時本社と逗子駅前店を撮影させて頂きました。

11時頃お店を拜見した所、店内はお客様で大賑わいでした。お客様が多い事以上に驚いたのは店員の方がお客様に今日のおすすめ商品の説明をしていた事です。私が普段買い物に行くスーパーでは到底考えられません。幼少期母親に連れられて八百屋に買い物に行った事を思い出しました。

後日逗子に住む知人にスズキヤってどんなスーパー?と聞いたところ、「買い物を楽しむ所」と言っていました。その通りだなと感じました。